

新しい時代へ

【ネクストビジョン2024】



鹿児島きもつき農業協同組合
代表理事組合長 下小野田 寛

1. 明らかに時代が変わろうとしている

- ①日銀の利上げ
 - ②大幅な賃上げ
 - ③1ドル=150円を超える円安
 - ④大幅な人手不足
 - ⑤物価高・原材料高
 - ⑥ChatGPT → 生成AI
 - ⑦不安定な世界情勢
 - ⑧グローバルサウスの台頭
 - ⑨日経平均4万円超え 新高値34年2か月ぶり
 - ⑩少子化・人口減の加速化
- | | | |
|-----------|-----|------|
| 2023年 総人口 | 59. | 5万人減 |
| 日本人人口 | 83. | 7万人減 |

日本にとってピンチであり、チャンスでもある

2. 食料安全保障

- ①国内の食料生産力を落とさない、維持する
技術革新・研究開発投資、人財育成



日本国内への半導体投資に負けないぐらいの国庫補助金を！
(産業のコメ VS 食料のコメ)

- ②全国のJAと結びつく
国内の激しい産地間競争から産地間および消費地間連携へ
- ③JA自ら農業生産を
JA特別会計と4つの農業生産法人を活用

3. 組織概要



令和6年2月末現在

会社名	鹿児島きもつき農業協同組合
設立	平成5年
役員	理事16名 監事6名
職員数	567人(うち正職員321人)
組合員数	13,955人(うち正組合員7,099人)
出資金	26億6千万円
貯金残高	1,175億5千万円
貸出金残高	295億7千万円
販売取扱高	283億4千万円
購買取扱高	163億4千万円



4. ネクスト10 (10年構想)



平成30年 総代会で承認

★ …達成済み ★ …実行中

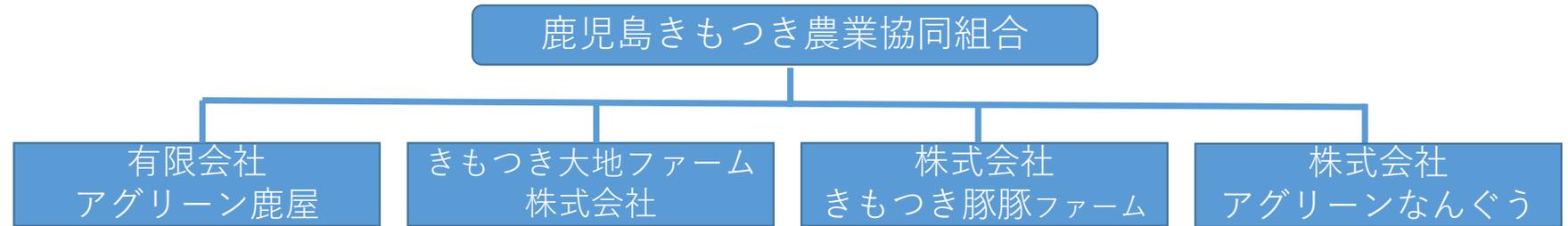
- ・第12回鹿児島全共和牛日本一連覇達成 ★
- ・鹿児島ブランド野菜選果場リニューアル★
(ピーマン・きゅうり)
- ・直売所農家レストラン開設 ★
- ・(株)きもつき豚豚ファーム設立★
- ・きもつきアグリビジネス大学創設★
- ・全国のJAおよび企業と連携した新事業の展開★
- ・きもつき営農センター等開設★
- ・海外研修生の積極的受け入れ★
- ・チームきもつき人財開発センター拡充強化★
- ・海外に輸出拠点設置などへ向けた事業提携★

5. 産地ブランド確立への取り組み

地域農業振興の中にJAおよび子会社の役割を明確に位置づける



6. 子会社事業の概要



※令和5年2月設立

有限会社
アグリーン鹿屋

- 設立年月日：平成5年1月27日
- 主な事業内容
→農作業の委託・受託事業/農産物生産・出荷
- 資本金総額：9,000万円
- 出資比率：100%
- 社員数：25名

売上：82百万円
総資産：265百万円

きもつき
大地ファーム
株式会社

- 設立年月日：平成21年2月18日
- 主な事業内容
→畜産物繁殖・子牛出荷・家畜飼料・
資材製造販売/農作業の受託
- 資本金総額：300万円
- 出資比率：90%
- 社員数：38名

繁殖雌牛：1,600頭
売上：1,047百万円
総資産：2,371百万円

株式会社
きもつき豚豚
ファーム

- 設立年月日：平成30年10月18日
- 主な事業内容
→養豚農場の運営
養豚後継者・継続者の研修育成
- 資本金総額：9,000万円
- 出資比率：100%
- 社員数：25名

子豚供給農場・肥育農場
売上：240百万円
総資産：355百万円

7. 子会社を活用した要員確保と担い手育成

①アグリーン鹿屋

外国人技能研修生受け入れ



②きもつき大地ファーム



新人社員として農業大学卒業生を受け入れ



③きもつき豚豚ファーム

後継者担い手として就農



離農養豚農場の施設を購入し、その後改修の上、新しい就農希望者に貸出して担い手を育成する



8. 鹿児島全共和牛日本一

県代表牛として当J Aより

種牛区 17頭中 **5頭**選出
 肉牛区 7頭中 **2頭**選出



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
 9区中6区で鹿児島県が1席獲得
鹿児島黒牛
和牛日本一連覇達成!!
 きもつき牛7頭 鹿児島県の日本一に貢献!!

第2区 若雄の1	たかこ1号	青木春佑	優等賞7席
第6区 総合評価群(種牛の部)	すみれひめ号	鶴田くみ	優等賞1席
第6区 総合評価群(種牛の部)	いつみ92号	上別府楨	
第6区 総合評価群(種牛の部)	ひでこ号	上別府楨	
第6区 総合評価群(種牛の部)	かりなきよ号	前田龍二	
第6区 総合評価群(肉牛の部)	速子1154号	新地正清	
第8区 去勢肥育牛	南迫号	衛うしの中山	優等賞1席

9. 合併30周年プロデュース

主な取り組み

- 高校生BBQ大会（令和5年6月17日）
管内高校生500人を無償で招待
地元産の牛肉・豚肉・野菜等を使用
- 全共日本一から1年記念大会（令和5年10月29日）
地域住民500人が参加したBBQ大会
一般応募の中から抽選



- 保育園・幼稚園へ食材提供（令和5年6月～11月）
管内の全保育施設を対象に、
地元産の牛肉・豚肉を提供



- 農畜産物直売所『どっ菜市場』での各種イベント



ご清聴、ありがとうございました。